

公共汚水ます設置工事仕様書

- 1 この仕様書は、大磯町（以下「甲」という）が発注する公共汚水ます設置工事を請け負ったもの（以下「乙」という）が、遵守しなければならない事項を示すものである。本仕様書により難しい場合は、甲、乙協議して定めるものとする。
- 2 甲は、乙に対し、公共汚水ます設置依頼書に基づき設置作業の指示を行う。
- 3 乙は、公共汚水ます設置作業の指示を受けたときは、直ちに現地調査を行い、接続される排水設備工事の期間内に完了させなければならない。
- 4 乙は、作業にあたり公共汚水ます設置依頼書に記載された申請者及び排水設備工事施工業者と調整をし、排水設備工事が円滑に行えるように作業の工程及び方法を決定すること。
- 5 乙は、作業にあたり安全確保に十分配慮しなければならない。
 - ・作業中は、現場に適応した安全対策を図り、安全確保のため必要に応じ、安全設備及び保安要員を配置すること。
 - ・掘削作業に際しては、必要に応じて仮設土留の設置を行うこと。
 - ・作業にあたっては、交通に支障のないようにし、必要に応じて諸種の標識を設置するとともに、緊急を要する車両等の通行について十分配慮すること。
 - ・作業中、万一事故が発生したときは、直ちに当町都市建設部下水道課（以下「下水道課」という。）及び関係機関に連絡をし、その指示に従うこと。
- 6 乙は、道路上の掘削作業を伴うときは、道路管理者等と事前協議をし、作業を開始する前に、必要に応じて次の書類を関係機関に提出すること。
 - (1)道路占用許可申請に必要な書類一式（道路管理者）
 - (2)道路使用許可申請書（警察署）
- 7 乙は、作業を行うにあたり地域住民と調整をし、円滑に作業を行うこと。
- 8 作業に伴い路面に土砂等が散乱しないよう注意し、常に良好な路面維持に努めるとともに、完了後は、完全に後片付けを行うこと。
- 9 作業箇所の工作物を破損したときは、下水道課に報告し、その状況を記載し、原状のとおり回復をすること。ただし、軽微なもの及び急を要するものについては乙の判断において処理し、下水道課に報告すること。
- 10 取付管は、硬質塩化ビニル管を使用するものとし、これらは全て J I S、J S W A S 等の規格に合格したものを使用すること。
- 11 公共汚水ますは、硬質塩化ビニル製を標準とし、これらは全て J S W A S K ー 7 の規格に合格したものを使用すること。
- 12 ます蓋は、密閉ふた差し口形ワンタッチ（シールリング接合）、チェーン付で表面に滑止め加工が施され、中央に大磯町の町章が記されたものとする。

- 13 公共汚水ますは、ます深 1000mm を基準とし、設置対象家屋が広い場合又は高低差がある場合は、ます深 1000mm 以上のますを設置するものとし、既設取付管が浅く、ます深が 1000mm 以下となると思われる場合は、下水道課に報告し、その指示に従うこと。
- 14 取付管及びますの継手は、漏水のないように入念に施工し、施工後に確認できるよう、写真等により管理すること。
- 15 施工にあたっては、公益社団法人 日本下水道協会「下水道土木工事必携(案)」、神奈川県「土木工事共通仕様書」及び公益社団法人 日本下水道協会「下水道用硬質塩化ビニル製ます」規格書、別紙標準図に基づき行うこと。
- 16 ます設置後は、ます付近を十分転圧し、竣工後、不等沈下のないよう、特に留意しなければならない。
- 17 ます設置後は、原状のとおり復旧すること。なお、申請者の要望等により原状と異なる復旧を行うときは、下水道課に報告し、その指示に従うこと。
- 18 取付管施工後の復旧作業は、即日本復旧まで行うこと。
- 19 工事に際しては、事前に工事予定日を下水道課に報告すること。報告は公共汚水ますごとに行い、現場着手は報告後に行うこと。
- 20 工事完了時は、竣工調書（様式－１）に必要な事項を記入の上、提出すること。作成は、公共汚水ますごとに行い、当該ますの設置作業終了後、２週間以内に提出すること。